

南アルプスの地下水について

地下水はどこから来るの？

甲斐駒ヶ岳をはじめとする南アルプスの山々に降った雨や雪は、花崗岩を多く含む山麓地層に浸み込み、地下を流れていると考えられています。 → 地下水概念図をご覧ください

地下水はなくならないの？

白州や武川など南アルプス甲斐駒ヶ岳エリアの地下水は、雨や雪が地層に浸み込み生み出されているため、雨や雪が降る限りなくなることはありません。

地下水を守るにはどうすればいいの？

地下水は大昔から人々の生活を支えてきました。

北杜市では白州地域の地下水を市営上水道の水源として利用しており、平成11年度から旧白州町と地下水を利用する企業が合同で地下水位観測のための井戸を設置し、水位の確認をしています。

一方、降水量については山梨県の観測データ（白州小学校観測局）により数年間の平均雨量が1,141mmであることが分かりました。北杜市は、この井戸の水位の変化や年間降水量のデータを専門家にお問い合わせし毎年検証しています。

これまでのデータによると、観測井戸の水位は多少の動きは認められるものの、現時点で問題が生じている状況にはないと報告がありました。

私たちはこれからも観測を続け、自然界に影響を及ぼさないよう大切に地下水を利用していき、後世まで引き継いで行きたいと考えています。

【データ検証・概念図監修／山梨県立大学地域研究交流センター 興水達司】